



出典：四万十市教育委員会

# 祭りから紐解く 地域の特色と 人々の願い

四万十市は旧中村市と旧西土佐村が平成17年4月10日に合併して誕生しました。本教材は四万十市の祭りを通して、それぞれの地域の特色や伝統を受け継ぐ人々の願いに迫ろうとしています。本教材が、皆さんの身近な地域の祭りに関心を抱くきっかけとなれば幸いです。

古舘佳織  
稲田美和  
鈴木誉也  
小田孝子  
恒川徹  
上村日向子  
宮田諭志

四万十市立図書館  
四万十市立図書館  
四万十市生涯学習課  
行橋市図書館  
東京学芸大学附属竹早小学校  
成城学園初等学校  
成城学園初等学校

# 不破八幡宮大祭「神様の結婚式」の写真から探る



Q. この人たちは何をしているのでしょうか？

- ・ 舟で釣りをしているのかな
- ・ 飾りがついているから、川が氾濫しないように願っているんじゃないかな
- ・ 「神輿」が積んであるけど、どこかに運んでいるんじゃないかな
- ・ 神社にいる人みたいな服装をしている人も乗っているよ

# 不破八幡宮大祭「神様の結婚式」の写真から探る

出典：四万十市教育委員会



出典：四万十市教育委員会



Q. 2枚の写真には同じものがあるよ。  
探してみよう

- ・ 同じ「神輿」が写っている！やっぱり運んでいたんだね
- ・ 黒い服を来た人も写っているよ。
- ・ 神社の人たちが儀式を行っているみたいだ。

# 不破八幡宮大祭「神様の結婚式」の写真から探る

出典：四万十市教育委員会



Q. 幟（のぼり）を読んでみよう

- ・「八幡宮」と書いてある幟がたくさん立てられているよ
- ・よく見ると、いくつか「一宮神社」と書いてある幟もあるよ
- ・二つの神社に関係のある儀式が行われているんじゃないかな？



Q. 「八幡宮」と「一宮神社」の幟が掲げられているこのお祭りは、どんな祭りなのだろう



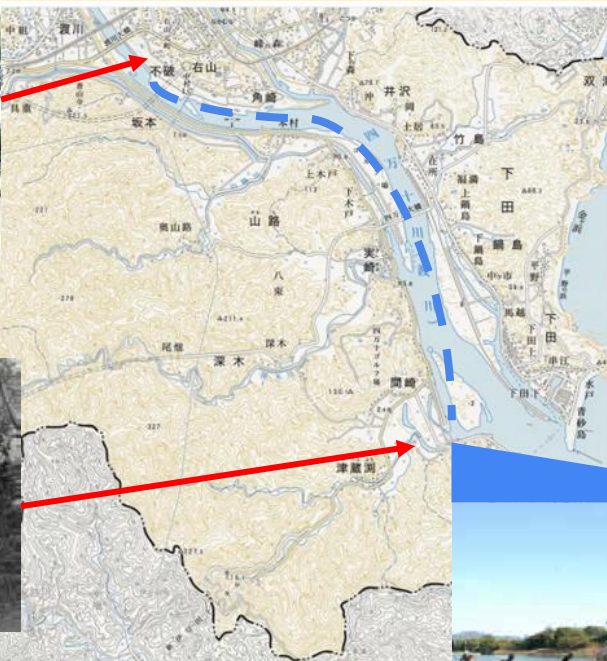
## 調べよう② 不破八幡宮大祭「神様の結婚式」



不破八幡宮



一宮神社



### Q. 四万十市職員の方のお話を伺おう

このお祭りは、不破八幡宮の男神と、四万十川下流にある一宮(いっく)神社(じんじゃ)の女神(おんながみ)を迎えて行われる結婚儀礼の神事です。土佐一條氏によって、当時幡多地域で横行した「嫁かつぎ」(略奪結婚の蛮習(ばんしゅう))を戒めるために、結婚式を神事に織り込み、始められたといわれています。

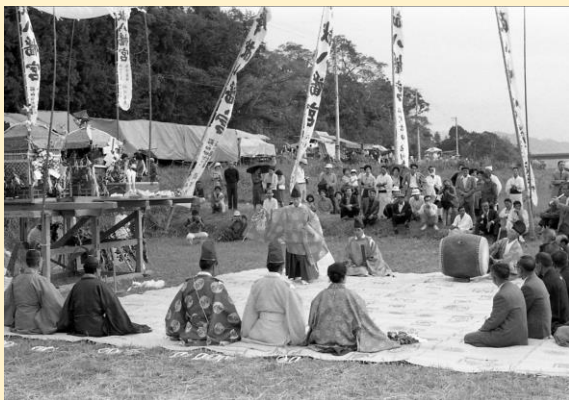
四万十川や支流の中筋(なかすじ)川(がわ)・後(うしろ)川(がわ)流域の集落それぞれには、神事に関する物品の扱出、神輿にお供する共付(ともつき)、女神の神輿を川船で運ぶ水師(すいし)などの役割が割り当てられ、川を軸として多くの人々が祭りに関わっています。



四万十市職員の方のお話

# 深めよう① 不破八幡宮大祭を受け継ぐ

Q. 今と昔の「神様の結婚式」を比べて気付いたことは？



# 深めよう① 不破八幡宮大祭を受け継ぐ

Q. マンガ「神様の結婚式」を書いた方の文章で心に残ったところは？

Q. 祭りに関わり続ける方やマンガを制作した方々の願いを考えよう



はじめに

「不破八幡宮のお祭り『神様の結婚式』をもっと盛り上げたい」との思いで、マンガで『神様の結婚式』を紹介する本誌を制作いたしました。

この本を手にする中、高校生や若い人達に、お祭りのことをもっと知ってもらい、お祭りを見に行ったり参加していただき、今後何十年も何百年も『神様の結婚式』が、地域を代表するお祭りとして受け継がれていくことを願っています。

マンガを描いてくれた「四方十雄(仮名)」の皆さま、対談で登場してくれた佐藤真由美さん、左古文男さん、また、チラウドファンディング等を通じて文筆を頂いた方々に心より謝礼を申し上げます。ありがとうございます。

平成二十九年五月

中村商工会議所  
不破八幡宮大祭「神様の結婚式」を  
盛り上げたい！プロジェクト一同

01



# 深めよう② 中村地区の発展に影響を与えた一條教房

Q. 100年近く前の史跡に紹介されている「一條教房」とはどんな人なのか？

- ・ ”名門”って書いてあるから、格の高い家柄の人だったみたい。
- ・ 応仁の乱の時に、京都から中村に移ってきたんだね。
- ・ 土佐国司になって、中村地区の発展に大きく関係した人だということはわかる



Q. 一條教房が土佐国司になったことで、中村地区にどのような影響を与えたのだろう

覽れ、或は京師の難に殉じ、或は天王山の曉霧となり、或は美作土居の朽土と化すも、其の忠義の氣は凝つて王政復古の鴻基を建て、身後爵位の恩典に浴して、聖恩枯骨に及びしは、不朽の積なりといふべし。  
 古圖の番所は尚舊家となりて存し、闡址は墓塚遺蹟となる、過ぐる者皆愴然低徊の感を抱かざるなし。

名 稱 小村神社 闡版第二八  
 所在地 高岡郡日下村下分  
 當國有名之古社にして、祭神國常立命、傳へ曰ふ、用明天皇二年初て鎮座す、劍を以て神體とす、三代實錄、貞觀十二年三月從五位上を授けらる、延喜式社に列し、國中の宮と稱せらる、其の社格の當時に重せられしこと知るべし、小野道風其の扁額を書き、現に社寶たり、棟札に仁治元年、貞治三年の物あり、大彼の時國術も造修を遂げらる古今の例なりとの文あり、寶物數多あり、現時の社殿は七十年前の建築にかかり、結構壯大に堅牢なり、社前の參道に杉並樹あり、また社後の杉樹は蒼蒼として殊に鬱木と稱せらる、大正十二年六月、縣社に昇格せらる。

四二



幡 多 郡  
 名 稱 前關白一條教房卿墓 闡版二九  
 所在地 幡多郡中村町字妙華寺谷  
 所有者 一條公傳家  
 一條教房卿は攝家藤原氏の名門にして、所謂一條禪間堂良卿の息男なり、長祿前後、二河迄關白の榮耀を務められしが、應仁亂後、京師の瓦解より難を避けて兵庫に下られ、文明二年、遂に繼嗣家卿と共に土佐に下國せられ、中村に在居し給ふて、文明十二年十月五日薨去あり、妙華寺殿と號し此に葬る、息房家跡を繼ぎ土佐國司となり、五世の業を開き、一條氏の勢力是より隆盛となる。  
 墓上に一大五輪塔ありしが、一時埋没せしを明治三十四年開掘し、一條家より其の缺損を補ひ完全なるものとす、其の臺石の銘左の如し。  
 (前) 前關白從一位一條教房公墓  
 (後) 文明十二年十月五日薨去  
 明治三十四年十月補足再興公府一條實輝

四三

高知県編、高知県『高知県史蹟名勝天然記念物 第1輯』（国立国会図書館所蔵）  
 「国立国会図書館デジタルコレクション」収録  
 (https://psearch.go.jp/item/digntl-1128329)



# 広げよう①

## 四万十市全図



出典：全て四万十市教育委員会



野津山文化



## 四万十市の主な祭りと分布



一條文化

# 広げよう① なぜ、同じ四万十市なのにいろいろな祭りがあるのだろう？



四万十市地域おこし隊ホームページより転載<https://40010city.com/season>

四万十市は旧中村市と旧西土佐村が平成17年4月に市町村合併をして誕生しました。隣り合っている市と村でしたが、その歴史や文化は大きく違います。中村は「土佐の小京都」と呼ばれ、土佐一條氏をもたらした京都の文化の面影が多く残されています。一方、西土佐村は隣あった愛媛県との交流が深く、牛鬼や五鹿踊りなどにその文化の影響を見て取ることができます。



四万十市職員の方のお話

## 広げよう① 半家天満宮の秋祭り

Q. この人たちは何をしているのでしょうか？

- ・ ここでも舟で神輿を運んでいるね。
- ・ 神様の結婚式みたいに、他の神社と何か関わりがあるのかな

# 広げよう① 半家天満宮の秋祭り



Q. 2枚の写真を見ると、  
どんなことが分かるかな？

- ・ 同じ神輿が、今度は橋を渡っているよ！
- ・ 牛かな？鹿の角を生やしたような衣装を着ている人もいますよ。どんなお祭りなんだろう

## 広げよう① 半家天満宮の秋祭り

- ・写真に写っていた「牛鬼」を調べてみたよ。
- ・四万十市職員の方のお話にあったように、愛知県でも「牛鬼」が出てくるお祭りがさかんに行われているみたいだったよ

西土佐村は隣あった愛媛県との交流が深く、牛鬼や五鹿踊りなどにその文化の影響を見取することができます。



四万十市職員の方のお話

『牛鬼がゆく』（NHKアーカイブス所蔵）

「みちしる」収録([https://jpsearch.go.jp/item/michi-D0004500539\\_00000](https://jpsearch.go.jp/item/michi-D0004500539_00000))

『宇和島 牛鬼』（NHKアーカイブス所蔵）

「みちしる」収録([https://jpsearch.go.jp/item/michi-D0004990989\\_00000](https://jpsearch.go.jp/item/michi-D0004990989_00000))

## 広げよう② 半家天満宮の秋祭りを受け継ぐ



出典：四万十市教育委員会

Q. 五ツ鹿踊りには、どんな人が参加しているかな

- ・ お年寄りの方やお父さんお母さんが見ているよ。
- ・ 踊りをしているのは、中学生なんだよね。
- ・ 「保存会」って書いてある法被を着ている方も写っているよ。

Q. どんな気持ちで五ツ鹿踊りを見ているんだろう

Q. 保存会の方はどんな取り組みをしているんだろう